

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 みなべ町

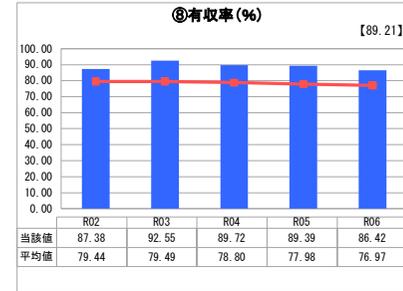
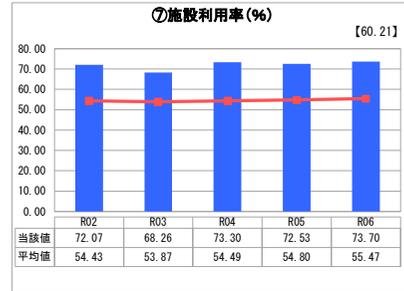
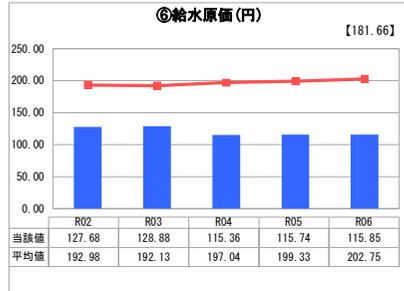
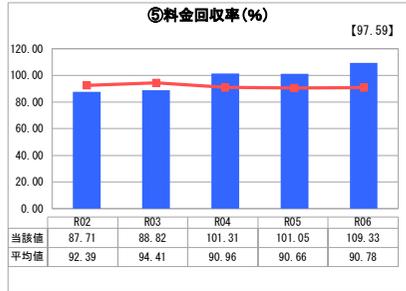
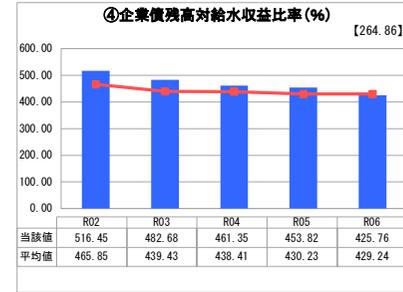
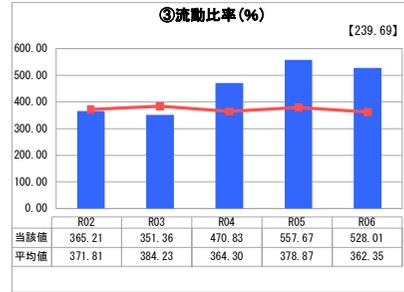
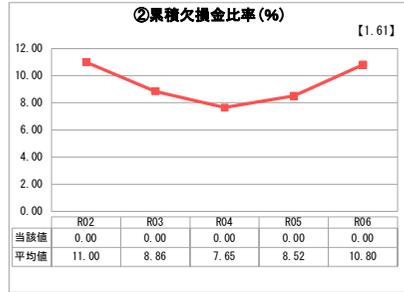
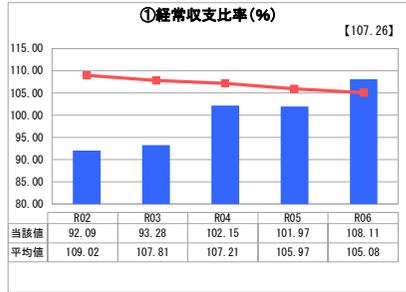
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	76.45	99.89	2,437	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,516	120.28	95.74
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
11,487	30.99	370.67

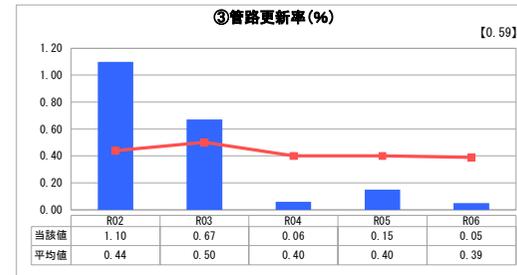
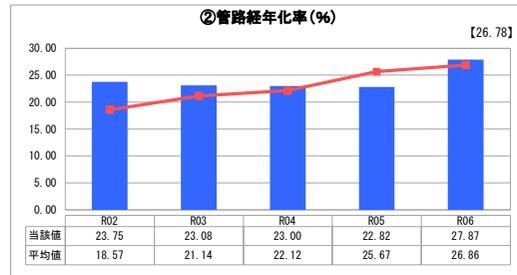
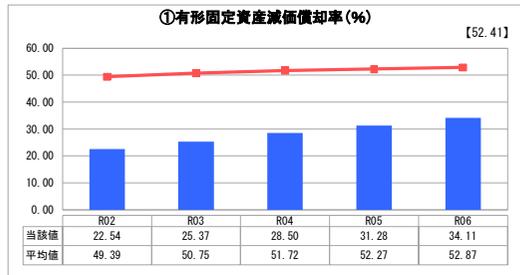
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度の経常収支比率は令和5年度から約6%上昇し、また料金回収率は約8%上昇している。令和6年度は類似団体、全国平均の数値を上回った。
これは、観光施設等の使用水量の増、令和7年1月1日から平均約50%増の改定率とした料金改定を行ったことにより、令和5年度から給水収益が増加したためと思われる。
給水収益の増と、収益的支出が抑えられたため、令和6年度は経常利益が発生した。
施設利用率、有収率は類似団体を上回り、施設は有効に稼働していると思われる。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体、全国平均より下回っている。管路経年化率は平成26年度から年々耐用年数を超える管路が発生し、管路更新を計画するもの令和6年度は類似団体、全国平均と並ぶ水準となった。
令和4年度から津波浸水区域にあるみなべ浄水場を高台へ移転するため、事業計画に沿って導水管の整備工事を開始、町内の管路については老朽化した管路から計画的に更新工事を進めているが、本格的な着手は数年後となり、令和6年度の管路更新率は類似団体、全国平均より下回っている。

全体総括

令和6年度は、有収率は令和5年度より減少したが、観光施設等の使用水量の増、令和7年1月1日から平均約50%増の改定率とした料金改定を行ったことにより、給水収益は令和5年度から増額となり、経常利益も発生した。
経常収支比率、料金回収率ともに令和5年度から上昇し、類似団体、全国平均と近い数値となった。
みなべ浄水場更新事業計画に沿って導水管の整備工事を開始したが、他にも町内配水管の老朽化対策など、水道事業を俯瞰して町内全域で検討していく必要がある。
事業財源の確保と赤字解消を目的に、前述の料金改定による財政基盤の強化を図り、経費節減に努め資金不足を発生しないよう更新投資計画を進めている。